

# こかきつばた

〒799-2407  
 山形県松島市  
 145  
 法人園  
 福祉楽  
 社早借  
 風早  
 障害者  
 北条支援  
 成育施設  
 成園



旧北条育成園



現在の北条育成園

## 回想 — 法人設立五十周年を迎えて —

風早偕楽園 理事長 渡部宗一

福祉施設を経営するには、その運営主体となる社会福祉法人を設立しなければならない。その申請先は国（現在の厚生労働省）であり、しかも直接申請は認められず、市、県を通しての申請であることから、答えが出るのに1年半近くの時間を要した。加えて、認可を得るには福祉施設の建築が確実でなければならぬ等の条件があった。即ち社会福祉法人は、税務上の優遇から、その認可には厳しいものがあつたように思う。

さて、当時世間一般は福祉施設等を運営するのは、社会的地位のある人格者、加えて経済的に裕福な方がするものと思ひ込んでいた。そこに、当時二十代の未熟者で、経済的余裕など全くなく、福祉施設運営の理想はありながらも現実性に直面すると本当に無力で、申請も迷いに迷った。そこで一番大口の補助があるという日本船舶振興会（現在の日本財団）に建築費の補助をお願いすることにした。周囲からは、宝くじに当たるより確率は低い、福祉施設ができない言い訳をしているようだなどといわれた。

しかし、自分の夢を託すにはこしかなないと確信していた。その理由は、日本船舶振興会の会長は笹川良一先生で、先生はある雑誌にこう載せていた。

終戦後、A級戦犯、死刑を待つ府中刑務所の中で、「もし万が一にでも命が助かれれば、日本がこの戦争を犯した最大の失敗は、国家のためのブレイン（頭脳）がないこと、よって生きられるなら、このことを柱に、社会的に弱い人たちに寄り添って行くために生涯を捧げ、その資金源としてポートレース競技を思いついた」とあつた。

この記事を読んで、先生は既存のことにとらわれないのではないかと一縷の望みを見いだした。そしてその上に、故関谷勝利先生や故原田改三先生等の多大なご助力もあつて、補助をいただき、法人認可を得ることができた。正直不可能かと思いつつも、いつも希望は捨てられなかった。こうしてつくった法人も、次の世代へとバトンタッチする時期が来た。そして、利用者支援の困難さから逃げないで、更に夢を捨てない運営をしてくれるものと信じて去っていききたい。

## フリーマーケット

二月二十日（金）利用者様からのリクエストにて、久しぶりにフリーマーケットを開催しました。数日前から「何を買おうかな」「雑誌はあるかな」など、利用者様のにぎやかな声が聞かれていました。

いざ当日、日活棟二階に準備した特設会場には、洋服や文房具、雑誌、小物など、様々な品物が所狭しと並べられ、皆様歓迎されていました。洋服を手にとり、鏡の前であわせてみたり、好きなキャラクターの小物を見つれたり、みなさんじっくり品定め。女性陣にはかわいいぬいぐるみが好評で、男性陣は、単行本、雑誌が大人気でした。中でも山口百恵のベストアルバムには、皆様大喜び！手に入れたのは、女性利用者様で、その利用者様の好意により、休日の中庭でのウォーキングに百恵ちゃんのアルバムを聞きながら歩いています。

皆様、お気に入りのものを見つけ、洋服を早速羽織ったり、買ったものを友達と見せ合ったりと楽しまれた一日でした。

（支援員 小松）



# 節分

二月三日（火）日中活動棟一階で、節分の行事を行いました。昔は病気や災害など悪いことは鬼の仕業と思われていました。役を払い、新年の幸せと健康を願って、豆で鬼を追い払います。今年も職員が鬼の面をかぶり、手作りの豆で「鬼は外」「福は内」と元気に豆まきを行いました。

今年の恵方は南南東です。利用者様にお伝えすると、みんな恵方を向き、「今年もいいことがありますように」「恵方巻はだまって食べる」といいことがあるんですよ」とにぎやかな声。ほかにイワシのフライ、五目豆煮、ほうれん草のおひたし、デザートにはかわいらしい赤鬼がのった抹茶プリンもあり、季節感たっぷりの食事を楽しんでいただきました。

節分が終われば立春、いよいよ春です。今年も北条育成園にたくさんさんの「福」が来ますように！



(支援員 乗松)

# バレンタイン

バレンタインデーは男性陣にとつては大きなイベントです。

二月十四日（土）当日、朝からそわそわ、「今年は誰がくれるかな」「チョコレート楽しみ」といった声が男性利用者様から聞かれています。

一方、女子利用者様は、一人ひとりにメッセージカードを準備し、プレゼントを準備。「いつもありがとう」「元気ですごしてね」と日頃の思いや感謝を添えられたクッキーを頂き、皆さん笑顔いっぱいでした。

男子利用者へ手渡された後、来月のホワイトデーが楽しみですとの声が女子利用者様から聞かれました。



(支援員 南)

# ひなまつり



毎朝、早くから食事の準備をする厨房の職員たち。その日は、いつも以上にニコニコ、ソワソワ調理をしています。三月三日（火）雛祭り、利用者様の笑顔を想像しながら行事食の準備を進めていきます。

利用者様の「今日のご飯はなんだろうな?」「今日は、お寿司?」「今日はひな祭りのご飯だね」などの声に調理員さんとの会話も弾みます。食事は利用者様と調理員のコミュニケーションケーション。行事食となれば一層気合いも入ります。昼食を迎え、利用者様からは、「わー、おいしそう」「お寿司大好き」「ありがとう」うれしい声が聞こえてきます。利用者様の笑顔のため厨房職員一同これからも頑張っていこうと思います。



(支援員 梶原)

# ホワイトデー



三月十四日（土）、朝から女性陣はウキウキそわそわされている様子でした。今年の育成園のホワイトデーは、製菓班特製ハートクッキーでした。日中活動が終わった夕方、日頃の感謝と思いを込めて、男性利用者様と男性職員が女子棟へ向かい、女性利用者様や職員に日頃のお礼と共に手渡しさせていただきました。「いつもありがとうございます」「これからも仲良くしようね」「バレンタインありがとうございました」等の温かいエールを送られていました。

受け取る際には少し照れられている様子でクッキーを受け取られていました。男性利用者様もお返しがしっかりとできた事に喜ばれている様子でした。



(支援員 津田)



# ホーム風早郷だより

温かい日差しの中、桜のつぼみも少しずつ開き始め、気分も明るくなる四月となりました。ホーム風早郷も、利用者様の明るい笑顔に支えられ、ご家族様、後見人様、地域の方々にご理解ご協力いただきながら、十五回目のお春を迎えることができました。

平成二十六年のこの時期に、大きな制度改革が施行される中、生活援助事業ホーム風早郷が生まれました。この十四年間で、たくさんの方の出会いと別れがありました。目を閉じれば、たくさんの方の利用者様の顔が浮かんできます。高齢により入所施設や介護施設へ移動された利用者様、生活のステップアップのために、他の事業所のグループホームへ移動した利用者様、急な病気により悲しい別れとなってしまった利用者様もおられました。

しかし、入所施設や病院、ご家庭などで生活していて、当事業所を新たな生活の場として選んでいただき、うれしい出会いもたくさんありました。

これからも、事業開始時の目標であった、笑顔になれる場所、帰りたい「家」となる場所、近づくことができるよう、職員一同頑張っていきたいと思っております。今年度もご助言、ご指導よろしくお願いいたします。

(サビ管 大成)

## 御礼・来園

篠原 由延 様  
 篠原 祐二 様  
 オハイ・アライ 様  
 福角 会 様  
 まさき育成園 様  
 順不同 様

### お悔み

村上友二郎様が三月三日御逝去されました  
 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

# 第50回 五月祭

日時 令和8年5月10日(日)  
 午前10:00~(雨天決行)

場所 北条育成園

模擬店、ステージイベント  
 大抽選会あり!

キッチンカーも多数来園♪

記念すべき第50回開催を  
 迎えました!

皆様のお越しを  
 お待ちしております



## 4月 行事予定

- 1日(水) 意見交換会  
お花見
- 5日(日) 家族会総会
- 8日(水) わくわくプログラム
- 15日(水) みんなで  
レクレーション
- 22日(水) わくわくプログラム
- 29日(水) わくわくプログラム

## 5月 行事予定

- 1日(金) 意見交換会
- 3日(日) 憲法記念日
- 4日(月) みどりの日
- 5日(火) こどもの日
- 6日(水) 振替休日
- 10日(日) 五月祭
- 13日(水) みんなで  
レクリエーション
- 20日(水) わくわくプログラム
- 27日(水) わくわくプログラム

## 6月 行事予定

- 1日(月) 意見交換会
- 3日(水) わくわくプログラム
- 10日(水) みんなで  
レクレーション
- 17日(水) わくわくプログラム
- 24日(水) わくわくプログラム